

国際ロータリー 第2640地区

Vol.11
2024年

5



2023-2024年度 RIテーマ
世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！」

5月は「青少年奉仕月間」



2023-2024年度
ガバナー 谷 宗光

写真提供：有田市 ミカンの開花 成川守彦(有田RC)

Rotary
第2640地区



国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/tani>

目次

RI会長 メッセージ 1
 ガバナー メッセージ 2
 青少年プログラム 3
 ロータリーの青少年保護 4
 青少年奉仕月間に寄せて 5
 グローバルフィランロピーセミナー参加して 6
 クラブ活性化セミナー2024 に参加して 7
 シンガポール国際大会 オンツアー委員長 8

【RIニュース】

シンガポール国際大会 興味のある分科会 9
 愛情が支える活動 ナイジェリア 10-11
 5月は「青少年奉仕月間」です 12

【地区活動報告】

米山記念奨学生オリエンテーション他 13
 第42回ローターアウト地区年次大会 14
 次年度のための地区研修・協議会 15

【クラブ活動報告】

田辺市の天神崎で植樹 河内長野東RC 16
 45周年記念事業 防災グッズを寄贈 和歌山北RC .. 17
 創立45周年記念式典 和歌山北RC 18
 令和6年能登半島地震支援金を届けて 田辺東RC .. 19
 台湾東部地震の義援金を手渡す 海南東RC 19
 創立25周年記念式典、祝賀会 有田2000RC 20
 新会員の紹介 / 訃報 21
 ハイライトよねやま Vol.289 22-24
 コーディネーターニュース 5月号 25-26
 会員数報告(2024年3月) 27
 My Rotary 登録状況(2024年4) 28
 5月の行事予定 29



シンガポールで希望をわかち合おう

Rotary 

2024年ロータリー国際大会


2024年5月25日～29日
シンガポール

多様性・公平さ・インクルージョン

ロータリーのコミットメント

私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界のビジョン実現に向けて取り組みます。



ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、及び活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起らないよう確認する。

(2019年1月理事会会合、決定119号)

PRESIDENT'S MESSAGE

2023-24年度 国際ロータリー (R I) 会長
ゴードン R. マッキナリー

R I 会長メッセージ

 指定記事

持続的な変化の兆し

この1年間、ロータリーの雑誌でメンタルヘルスにフォーカスを当てて掲載したこと、そして、皆さんが世界中で熱心にこの問題に取り組んでくださったことを心から感謝しています。

ロータリーがこの問題に、もっと積極的に取り組むべきだと私が初めて発言したのは2023年1月です。その時、世界的なメンタルヘルスシステムが存在しないからといって、機能していないとは言えないと指摘しました。同時に、ロータリーがそのシステムを築く力になれるのではないかと、という強い希望も伝えました。

この希望が現実になる兆しが最初に見えたのは、皆さんが立ち上げた何十件ものメンタルヘルスプロジェクトに出合った時でした。また、多くの皆さんが、その諸活動を人々に伝えるよう、仲間のロータリー会員に勧めてくれたことも、同じくらい重要です。

若いロータリアンとローターアクターが示したリーダーシップ、そして、その勇敢で感動的なストーリーに私は心から感銘を受けました。元ローターアクターのフレディ・アルマザンさんは今月、シンガポールで開催される国際大会でその力強い生きざまを語ってくれます。

アメリカ・コロラド小児病院で小児精神保健のための奨学金を提供しているコロラドのロータリークラブのプロジェクトは、人々や地域社会に持続可能なインパクトをもたらす、永続的な変化を生み出す好例といえます。国際大会では、メンタルヘルスに関する取り組みで大きなインパクトをもたらす、1月に「2024年世界を変える行動人」として表彰された人たちの話も聞くことができます。ビンディ・ラジャセガランさんは、マレーシアの子どもたちがメンタルヘルスの問題に



対処するスキルを学べるよう支援し、それを全国的な支援体制として強化したプロジェクトについて話してくれます。

また、メンタルヘルス・イニシアチブのロータリアン行動グループの役員であるリタ・アガルワルさんは、出身地のインド・ナグプールで、青少年のメンタルヘルスに関する「Wellness in a Box」と名付けたツールキットを開発、活用したたことにより、この表彰を受けました。臨床的に実証されたこのキットは、世界のどこでも応用できます。支援や実施に関心のあるクラブは、同行動グループまでご連絡ください。

今後、このグループは、実証済みの測定可能なプロジェクトを推進する上で、リーダーシップを発揮していくことでしょう。これにより、各クラブが拡大可能で持続可能な成果を生むイニシアチブに取り組む力も高まるはずで

この雑誌を読み終えたら、My ROTARY のラーニングセンターにアクセスし、短い動画を含む「より大きなインパクトをもたらす」を、ぜひチェックしてください。

皆さんもインパクトに焦点を合わせれば、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生む」というロータリーのビジョン声明を形にすることができます。

ガバナー メッセージ

5月は「青少年奉仕月間」です。

2023-2024年度

ガバナー 谷 宗光



新緑が輝く季節となってまいりました。

和歌山市の花である、つつじも、あちらこちらで、私たちの目と心を楽しませてくれています。

今月は、青少年奉仕月間です。私たちの地区にも、インターアクトクラブやロータアクトクラブ、長期交換留学生など、様々な奉仕プログラムを展開して来ています。

例えば、インターアクトについては、コロナ前は、アジアの国に出向き、その国の情勢や文化、環境などを実際に体験をしに行けていたのですが、コロナが世界を席卷し渡航禁止などで、二年間は、地区としての事業が実質的には休眠状態となりました。しかし考えますと、インターアクトには、時間制限があります。中高一貫校は、別としても、海外の事、奉仕のことに取り組みたいな！と思って入部した一年生たちも、コロナだから仕方ないね。と、いたずらに時間を過ごしていきますと、あっという間に、三年生になっているのです。

そこで、各学校様とも顧問の先生を通じ、検討会議を重ね、インターと名前には付いていますが、「国内研修も学生の為になるよね」となり、国内に目を向けてみますと、そこには、中高生に感じてもらいたい体験が出来ることが沢山あることに気づきました。それが、一昨年開催されました、東日本大震災の被災地を訪問するプログラムです。そして、そのアップデート版として、昨年末には、インターアクトクラブ委員会の坂東委員長に、構想を練って頂き、大切な中高生を引率しますので、開催前に現地にも行って頂き、入念にプログラムを構成して頂きました。

そして、向かったのが熊本地震の爪痕を残す阿蘇地方でした。被災された住民の方々との直接の交流により、学生たちだけでなく、引率の顧問の先生、ロータリアンまでもが、涙しながら心に残る体験をすることができていました。否定ではありませんがロータリーは、世界の貧困や紛争などに目が行きがちです。それもとても尊い奉仕なのですが、私たちのすぐそばにも、手を差し伸べたり、心をつなぐ感じ、行動しなければならぬことが沢山あることを気づかされています。そしてその副産物と言う言い方が良いのかは、分かりませんが、国内研修を行って、「やっぱりロータリー凄いなあ」と実感できることです。訪れた地の地区のロータリアンのみなさんが駆けつけてくれて、応援が頂けることです。

年末のプログラムの時には、2720地区(大分

熊本)の膳所ガバナーはじめ、沢山のロータリアンの歓迎を受け、大分のインターアクトの高校生との交流の場まで、設営して頂きました。ロータリーの繋がりと、友情に感謝し、本当にありがたく、嬉しく思いました。

そうしていますと、3月には、2700地区(福岡)のインターアクトクラブが当地区高野山に、おいでになると言うでは、ありませんか！今度は私たちがお出迎えをする番だと感じ、高野山RCさん高野山高校インターアクトクラブと地区インターアクトクラブ委員会、を中心に地区内の多くの方に参加して頂きました。高野山高校様には、マイクロバスまで提供して頂き、福岡の仲間たちにも、楽しんで帰っていただきました。

アッ！しまった。交換留学生のことやアクトのこともお伝えしたいことがありましたが、行間に限りがありますので、ごめんなさい。そして、青少年奉仕の根底にある、日本の文化と教育について、是非とも読んでいただき、少し考え感じていただきたく。

明治天皇が仰っておられていることを二つ書かせて頂きます。

一つ目は、学問の基本である道德教育が軽視されていること。

「今の教育はあまりにも西洋風に偏り、東洋的な倫理すなわち慈しみの心や人を敬う精神が忘れられている。幼少のうちから仁義・忠孝の道を教えなければならない」

二つ目は、実社会に役立つものになっていないということ。

「上手に英語が話せても、それを日本語に訳すことができないのでは、せっかくの学問は実用性に乏しいものになってしまう。これは、適切な教育がおこなわれていないからである」

いかがでしょうか？

さあ！今月も、'思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！'楽しみましょう！



5月は「青少年奉仕月間」

青少年プログラム

ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。



インターアクトクラブ

12～18歳の人たちが集まるインターアクトクラブでは、インターアクト会員が、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。



青少年指導者養成プログラム (RYLA)

RYLAは、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。このプログラムは、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われます。



青少年交換

世界100カ国以上で実施されています。ロータリークラブの支援の下、15～19歳の学生が外国語や異文化を学び、世界市民としての自覚を養うプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者の育成を支援します。



新世代交換

新世代交換は、30歳までの大学生と社会人を対象とした短期の交換プログラムです。人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、参加者のニーズや要望に応じた内容の交換が行われます。

ロータリーの青少年保護

ロータリーは、差別や身体的、精神的、性的な虐待のない、青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことに努めています。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリー会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない。



[青少年の保護に関する懸念を報告する](#)

[ロータリー青少年保護の手引き](#)

ロータリーは、青少年保護に関するすべての懸念を真剣に受け止めます。

虐待を防止するためのロータリーのアプローチ

若者と青少年プログラム参加者の安全と福利は、ロータリーの最優先事項です。青少年保護のためのロータリーのアプローチには、以下が含まれます。

- 青少年への虐待やハラスメントを一切容認しない
- 不正行為を防止し、青少年を含むプログラム参加者を巻き込んだ手なづけ行為や虐待への対応方法に関する方針
- 青少年保護の研修を受ける義務(ガバナーエレクト向け)
- 性的虐待やハラスメントの報告を受けて対応する際に、トラウマを考慮したアプローチを用いる訓練された職員の起用

青少年交換に関与する地区に求められる参加資格認定プロセス

- 虐待防止に関する学生、家族、ボランティア向けの研修
- 申請、犯罪歴確認、レファレンス確認を含む、ボランティアのスクリーニング
- 虐待やハラスメントをロータリーと地元警察に報告するためのプロセス
- 地区特有の青少年保護方針
- ロータリー職員による現地評価(査察)

青少年奉仕月間に寄せて

地区青少年交換委員長 豊岡 敬

青少年交換プログラムは、高校生の海外留学を支援しています。歴史は長く、1927～1929年頃からヨーロッパで始まったと言われております。交換学生は、約1年間、海外の学校で学び、生活をする中で、語学能力を高め、国際的な感覚を身に付け、非常に逞しく成長します。



つまり、教育的見地から言うと、健全な青少年の育成に寄与していると言えるでしょう。また、交換学生は、小さな親善大使と言われており、派遣先で異文化の交流、相互理解を進めて、多くの知人・友人をつくることで、究極的には世界平和に貢献してくといった使命も果たします。現在、2640地区では4名の外国人学生の受入れをしており、3人の日本人学生の派遣を行っています。

交換相手国はアメリカとオーストラリアです。北半球同士との交換は、お互いに、7月か8月に派遣を行います。しかしながら、南半球のオーストラリアとの交換は変則的です。

派遣の方は同様に7月か8月に始まるのですが、受け入れの方は、半年程前の1月から始まり、12月で終了します。昨年の夏に派遣した学生たちは、もうじき帰国する時期を迎えます。帰国後には、1年間の経験を現地の言語でスピーチをする機会を設けます。彼らが異国でどのように成長したのかをスピーチを通じて聞くことが今から楽しみです。



青少年交換プログラムは、新しいアイデアや体験を発見し、違う考え方や生活様式に触れ、新しい友だちをつくる機会となります。これらは、ロータリーだからこそ得られる価値であり、参加者は心を開いてプログラムに臨むことが求められています。

2024年 グローバル フィランソロピー セミナー 地域リーダー研修に参加して

2024-2027年 第三地域ポリオ根絶コーディネーター
パストガバナー 藤井 秀香

2024-2027年 第三地域ポリオ根絶コーディネーターを務める事となり、2024年3月24日～26日、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー本部へ研修の為にシカゴへ行ってまいりました。ロータリー歴28年にして初めて、本部センターへ行くチャンスを頂いたことに感謝申し上げます。

3日間、朝から夕刻まで世界からのリーダーと同時通訳でRLI形式で素晴らしいファシリテーターの下、意見交換並びに研修を受けました。ミシガン湖を望む素晴らしいロケーションのONE ROTARY CENTERとホテルの行き来で、観光もお買い物もできませんでした。



ポール・ハリスの銅像が迎えてくださり、四人での最初の例会のお部屋も再現されておりました。センターの正面の窓は、大きくEND POLIOのラッピングがされており、ポリオワクチンを投与されている大きな銅像もありました。



ROTARYの最優先課題であるポリオ根絶のカウントダウンまで後少しです。ご寄付をよろしくお願い申し上げます。



クラブ活性化セミナー2024 に参加して

2024-2025年度 ガバナー 野村 壮吾

テーマ「元気なクラブづくり・仲間づくり」
～新しい活動領域を創造しよう～



2024年4月18日(木)・19日(金)の2日間、東京駅前のJPタワーホール&カンファレンスにおいて、クラブ活性化セミナーが開催されました。



各地区のガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーなどのロータリアン総勢400名弱が集まりました。当地区からは、藤井PG、中野PG、豊岡PG、谷G、北野GN、私と6名の参加でした。

まず、開会の辞、招集者の挨拶があった後、セッション1は2024国際協議会に参加してということで、第1地域、第2地域、第3地域の各GE代表が報告を行いました。セッション2では、佐藤RI理事よりロータリー会員の世界、および日本の現状を報告されました。セッション3では、3year targets(3年の戦略計画)について説明があり、JAPAN ROTARYのポータルサイトの活用方

法を教えてくださいました。セッション4・5では、女性会員を増強しているクラブの事例、また新クラブ結成の事例など紹介されました。セッション6・7は、アイスブレイクセッションでした。

「問題のクラブ」or「クラブの問題」における5つの壁というテーマで1会員の自覚と立ち位置、2新会員へのフォローの不足、3クラブ会長のヤル気の不足、4日本版“DEI”の存在「D(Diversity 多様性)…女性会員問題」「E(Equity 公平さ)…若手会員(年齢格差・年齢序列)」「I(Inclusion インクルージョン)…クラブの文化(会員の居心地)」、5拡大するクラブと縮小するクラブという内容で、田中久夫PG(高崎RC)よりお話しがありました。1日目はこれで終了し、懇親会の開催となりました。

翌日は、セッション8・9とロータリーの公共イメージ向上戦略やお正月に発生した能登地震でのロータリーの対応について石川県七尾市の恵寿総合病院理事長 神野正博氏(七尾RC)より、お話しがありました。

以上、盛り沢山な内容でクラブ活性化セミナー2024は終了しました。各地区の現状を知ることで当地区の課題が浮かび上がってきます。一朝一夕に改善は成りませんが、真摯に取り組むことによって道は開けていくと思います。当地区も会員の減少が進行していますが、各クラブが魅力あるクラブとなって会員増強に繋げてほしいものです。



welcome



国際ロータリー 第2640地区 **地区ナイト**



シンガポール国際大会



地区オンツー・シンガポール委員長 **坂本 光文**

ロータリー国際大会が5月25日より5日間の日程で間もなく開催されます。

国際大会では、世界から集まる行動人たちが、世界や地域が抱える課題への解決策について考え、持続可能な変化を生み出す活動の成果を祝い仲間とのつながりを深め、視野を広げながら、一生の思い出と末永い友情をつくることができます。

開催国シンガポールへは、当地区から70名余りのロータリアンが参加されます。オンツー委員会が募集した50名枠の旅行企画は完売しました。他の20名余りの方は、個人での参加又はクラブ企画での参加となっております。

また、シンガポールで開催する地区ナイトには、ほとんどの方の参加登録をいただいております。委員会としては、国際大会に参加する仲間と大いに楽しみ、友情を深められる地区ナイトにしたいと考えています。



シンガポール国際大会

2024年5月25日～29日



【RIニュース】



シンガポール国際大会

興味がある分科会を選んで参加しよう

ロータリー国際大会では、何千人もの会員と共に本会議に出席すれば、ロータリーの影響力の幅広さを実感することになるでしょう。一方、より小規模な分科会では、関心のある分野に焦点を絞って掘り下げて学ぶことができます。



シンガポール大会では数十もの分科会が開催され、クラブでの体験、地域社会、世界をより良くするための大胆なアイデアが必ず見つかるはずです。

分科会では、ロータリアンとローターアクターの強みを合わせ、会員の入会促進と維持の課題を解決し、自分や周りの人たちのためにより良いメンタルヘルスを

促す方法を学ぶことができます。

また、環境にやさしいクラブ運営やイベント運営、ハビタット・フォー・ヒューマニティなどのパートナーとの協力、プロジェクトに助言してくれる専門家の見つけ方、インターアクトの会員増強などについても学べます。これらはいずれも、今大会の分科会で取り上げられるトピックです。

新しいプロジェクトや長期的なイニシアチブを成功させたり、ロータリーに対する生涯の愛を会員の心に育んだりするためのヒントが得られるでしょう。ロータリーの影響を示すための成果測定、あらゆる世代の会員間の橋渡し、理想のクラブの立ち上げ、人工知能の活用など、数多くのテーマが取り上げられる予定です。

分科会(5月27日～29日)への参加に登録は不要です。国際大会のウェブサイトに分科会の暫定リストが掲載されていますので、「世界と希望をわかち合う」ために参加の計画をお立てください。この大会テーマにぴったりの、「Spreading Global Kindness - Starting in Singapore(世界に優しさを広げよう、シンガポールから)」と題する分科会もあります。

世界と希望をわかちあおう
 シンガポール 2024年5月25日～29日
 ご登録は convention.rotary.org から




【RIニュース】



ロータリーの大規模プログラム補助金が支援する取り組みでは、ナイジェリアにおける妊婦の死亡率の低下を目指しています。

アブジャの11月、猛烈な太陽の下、友人の腕に寄りかかった妊娠中の女性が、中庭を横切ってレンガ造りの小屋に姿を消します。数分後、小屋の中から「いきんで、いきんで！」という声が聞こえてきました。数分が経過すると二人は再び姿を現しますが、今回は女性が友人が押す車椅子に座っています。もう一人の女性が、生まれたばかりの赤ちゃんを抱えて一緒に歩いています。

車椅子の女性は苦しんでいる様子です。中庭の向こう側から看護師が走ってきます。「なぜ出産のために医療施設に来なかったのですか」と看護師は女性の血圧を調べながら嘆きます。ほかのヘルスワーカーたちも集まってきます。「出欠量が多い。彼女をここで死なせるわけにはいかない」と看護師が叫びます。

看護師たちの懸命な措置もむなしく、女性は車椅子でうなだれています。看護師は天を仰ぎ、改めて警告します。「病院での出産が一番安全です。この女性に何が起こったか分かりますか？彼女は命を落としました。亡くなってしまったんです」

数秒の沈黙の後、青いブルーシートの下に座っていた人たちから、木陰にいた人たちまで、中庭のあらゆる場所にいた人たちが大きな拍手を送ります。寸劇は大成功に終わりました。



この寸劇は、クチンゴロ・プライマリ・ヘルスセンターの中庭で行われたものです。ナイジェリアの首都・アブジャにあるこのセンターに、今朝は約200人が集まりました。看護師は俳優ではなく、ヘルスセンターの最高看護責任者であるビクトリア・オクエさんです。寸劇は、ナイジェリアでの出産における非常に高い死亡率についての認識を高めるためにロータリーが支援したワークショップの一部として行われました。

ナイジェリアほど妊婦の死亡率が高い国はありません。2020年には82,000人の妊婦と新生児の母親が死亡しました。これは、死亡率が2番目に高いインドの死亡数の約4倍です。

この要因の一つは、ナイジェリアにおける出産の60%以上が、ヘルスケアセンターまたは病院の外で行われており、

【次ページへ】

【RIニュース】

母親や妊婦が出産に伴う合併症が起きた際により大きな危険にさらされてしまうことです。実際にこういったケースが多く発生しています。妊産婦の死亡の主な原因には、高血圧や臓器の損傷を引き起こす可能性のある合併症から発作が発生した場合の産後出血、閉塞性分娩、子癇が含まれます。助産師のアシェジ・デービッド・アルさんは、ほとんどの人が出産に伴う死を「神からの罰」だとか「何らかの魔術」だと考えていると話します。「しかし、実際はこういった合併症の管理が不十分であるための単なる過失行為からくるものです」

現在、ロータリー財団からの200万ドルの大規模プログラム補助金で、まさにこの問題に取り組むための活動が展開されています。目標は、3年間のプログラムの終わりに、対象地域の妊産婦と新生児の死亡率を25%減少させることです。このプログラムは、「ナイジェリアの家族の健康のための協力」として知られ、第1860地区(ドイツ)が第9110地区、第9125地区、第9141地区、第9142地区(ナイジェリア)と提携し、母子の健康のためのロータリー行動グループと協力して実施しています。

この取り組みは、ナイジェリア三つの州と連邦首都特別地域内の対象地域で展開され、同国のロータリー会員によるこれまでの活動に基づいています。このプログラムの有効性が実証されれば、ナイジェリアやその他の地域でも同様の活動を実施できることが期待されています。重要なのは、ロータリー会員が連邦および州の機関と協力してプログラムを実施し、補助金サイクルの3年間よりもはるかに長い期間、介入とその成果が継続していくようにすることです。プロジェクトマネジャーのアデバンボさんは、「このプロジェクトがより多くのプロジェクトを生み出す」と話します。

アデバンボさんは以前、米国国際開発庁(USAID)とその実施パートナー団体で、モニタリングと評価、管理、人事、プロジェクト管理などの職務に就いていました。2004年、大学で統計学を専攻していたときにローターアクトに入会し、後にOne NigeriaロータリーEクラブの会員となりました。大規模プログラム補助金について聞いたとき、自分もこの取り組みに参加したいと名乗り出ました。「10年、20年後にどうなっているかを考えたとき、今から関わっていきたく感じました」とアデバンボさん。「ロータリアンほどこれをうまくできる人はいません」



エマニュエル・アデドラポ・ルファデジユさん

1980年来のロータリー会員であるルファデジユさんは、2023年8月にナイジェリア保健機関内の安全な母性に関する小委員会の委員長に任命されました。ルファデジユさんがこの役職に任命されたことで、ロータリー会員によるさらなるリソースのためのアドボカシー活動が後押しされました。「私が(連邦保健当局との)会合を要請すれば、ノーと言われることはありません」とルファデジユさん。「私はこの活動の主要な担い手であるので、彼らは時間がないことを理由にはできません。私が彼らのシステムの一部となって活動しているからです」

【抜粋】 詳しくは、My Rotary 記事

【RIニュース】

5月は「青少年奉仕月間」です

ロータリーの青少年奉仕では、[インターアクト](#)、[ロータリー青少年指導者養成プログラム\(RYLA\)](#)、[ロータリー青少年交換](#)、[新世代交換](#)などを通じて、若い人びとのエンパワメントと能力開発を支援しています。5月はロータリーの「青少年奉仕月間」です。この月間に向けて、若いリーダーを支援するための方法について学びましょう。



毎年、世界中の 15,000 を超えるインターアクトクラブがコミュニティ内にポジティブな影響をもたらしています。彼らの勤勉を称えるために、国際ロータリーは毎年インターアクト賞というキャンペーンを主催しています。インターアクトクラブは、クラブの経験や奉仕活動を紹介するビデオ、写真、エッセイを提出するよう求められています。参加することで、インターアクトクラブは、自分の投稿作品が「最優秀ビデオ」、「最優秀写真」、または「最優秀エッセイ」に選ばれる機会が得られるとともに、次の奉仕プロジェクトを支援する資金を受け取ることができます。

2023年インターアクト賞の動画、写真、エッセイの各部門ファイナリストの作品をご覧ください。

青少年と若い成人を対象としたロータリープログラムの最新情報をお届けする「[Young Leaders in Action](#)」ニュースレター(英語のみ)の定期受信をお申し込みください。



2023 最優秀ビデオ: マレーシア、クエンチェン高校インターアクトクラブ



2023 年の最優秀写真: 米国ポートラ高校インターアクトクラブ



2023年ベストエッセイ: エジプト、カイロニュータウンのインターアクトクラブ

Interact Club of Cairo New Town, Egypt

Ever wondered what happens when awesome people come together to do awesome stuff? That's Interact for you! Not your average club, but a place where cool things happen, and everyone's invited to join the fun!

Think of Interact like a magic loom. But instead of weaving with regular threads, we use dreams, big ideas, and the energy of a bunch of young minds itching to do something special. Our projects aren't just projects; they're like cool adventures. We don't just clean up; we make the environment sparkle with our unique ideas. Fundraisers aren't just about money; they're like putting on a show where we dance towards dreams that seem impossible (but totally aren't!).

[Interact YouTube ページ](#)でファイナリストのビデオをすべてご覧ください。

【地区活動報告】

米山記念奨学生オリエンテーション／カウンセラー研修会／確約宣誓式



地区米山記念奨学委員長 三木 菊夫

和歌山城の桜が見頃となった4月7日、和歌山市の和歌山県JAビルにおいて米山記念奨学生オリエンテーション／カウンセラー研修会／確約宣誓式を開催いたしました。

この日は、2024年度の新規の米山記念奨学生16名にとって地区委員会のメンバーや所属世話クラブのカウンセラー、そして米山の先輩に当たる昨年からの継続奨学生6名と初めて対面する日であり、奨学生が果たすべき諸々の義務と責任を誠実に果たす旨の「確約書」にサインをすることにより正式に米山記念奨学生となるという重要な日です。

地区委員会と奨学生達との初顔合わせは、野村ガバナーエレクト、豊田次年度代表幹事、米山学友会の董涛会長にも同席いただいたの昼食会となりました。自己紹介やらグループラインの登録やらを和やかな雰囲気の中でしていただきました。最初は緊張気味の奨学生達でしたが、野村エレクトの奨学生達の母国語の挨拶を交えた軽妙なお喋りと奨学生達とのやり取りの中でその硬い表情がほぐれていくのがわかりました。初顔合わせは上々の出来となりました。



後奨学生とカウンセラーが別室でそれぞれオリエンテーション、研修を受けた後、確約宣誓式が始まります。新規奨学生達に演台の前に整列してもらい、司会者から奨学生の紹介の後、その奨学生の世話クラブ・カウンセラーに奨学生を自席に招き寄せていただきそこで両者初対面のご挨拶という段取りで式が進みました。全員の顔合わせが済んで奨学生代表の「確約宣誓」です。奨学生代表は台湾出身の和歌山大学生、蔡宜庭さんです。130字程の確約宣誓文ですが、書面を読み上げると思いきや流暢な日本語でさらりと諳んじて見事に大役を果たしていただきました。お見事でした。

最後に出席者全員で記念撮影をして、当委員会の初仕事を無事に終えることが出来て委員長としてほっとしたところです。

それしても谷ガバナー、この日の桜、何処でご覧になったのでしょうか(笑)。



【地区活動報告】

第42回ローターアクト地区年次大会



地区ローターアクト委員長 高橋 佳寛

堺市の南海グリルにおきまして、2023-24年度 第42回ローターアクト地区年次大会が開催されました。谷ガバナーを始め豊岡パストガバナー、野村ガバナーエレクト、北野ノミニー、が参加して頂きそして各地区のローターアクト地区代表幹事、他地区のアクター達も参加し総勢120名での大会となりました。

谷ガバナーのご挨拶ご祝辞を頂き緊張感の中、大会が始まりました。そして2640地区内のアクトクラブの1年間の活動報告があり今のクラブの現状や活動内容の説明等、聞かせて頂きました。各クラブとも会員減少の為思うような活動が出来ていないのが現状でしたし、次年度へ向けての課題も沢山あると痛感致しました。

第二部は防災士、松尾様の講演があり災害への備え、地域の避難場所の周知や心構え等、お話し頂き、参加者全員でディスカッションをし、災害への備えについて話し合いました。続いて懇親会へと移り、終始和やかに各テーブルの方々とお食事しながら情報交換しアクター同士の懇親や友情を育むことができたんじゃないかと思えます。

そして、他地区のアクターからの差し入れのご当地のお酒も頂けて大変楽しい時間となりました。最後に今回の年次大会を通じて今後のロータリーとローターアクトの付き合い方としての第一歩が進んだ様な大変貴重な大会となりました。



【地区活動報告】

2024-2025年度のための地区研修・協議会

2024-2025年度 ガバナー 野村 壮吾

2024年4月21日(日)に和歌山大学において、国際ロータリー第2640地区2024-2025年度のための地区研修・協議会を開催させていただきました。地区内60クラブ、会員数486名のロータリアンが参加されました。当日は、小雨が降る中でしたが沢山の会員がお集まりいただき誠にありがとうございました。

午前10時に開会点鐘、国歌、奉仕の理想を斉唱の後、地区役員のご紹介、ガバナー挨拶そして、この会議の目的について、次年度ラーニングファシリテーターである豊岡PGからご説明をしていただきました。その後、「地区組織の運営について」情報規定委員会委員長である岡本PGよりお話しがありました。



さて、国際協議会の報告です。まず次年度RI会長ステファニー・A.アーチック氏の講演ビデオを視聴し、ステファニーさんの人となりを感じるところで紹介させていただきました。彼女は、「人を大切にする人」という印象を持ちました。また、「奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。」と仰っていて懐の深い人だと感じました。次年度のRIテーマは、「ロータリーのマジック」です。この詳細については、マイロータリーで確認をお願いします。



RI会長の思いを受けて、次年度第2640地区の基本方針を「ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう」といたしました。1905年に始まったロータリー活動ですが、約120年経った現在、ロータリーの活動は大きく変革してきました。しかし、変わらないモノがあります。それは、「四つのテスト」です。また、このテストは、他人にむけるものではなく、自分自身に対して問いかけるものであるということをお忘れしないで下さい。よろしくお祈りいたします。



午後からは、部門別協議会ということで各部門に分かれて次年度地区委員長の皆さんから、次年度方針を説明していただきました。地区の組織を少し見直し、現在の地区の身の丈を考え、簡素化を目指しました。地区は、各クラブの活動を支援するという視点で各地区委員会活動を考えています。それから、オンツアー・カルガリーの映像を見て、次年度地区大会の日程などをアナウンスして地区研修・協議会は終了しました。その後、豊岡PGから講評をいただき、全てのプログラムが終了しました。



最後になりましたが、この地区研修・協議会を準備、段取りしていただいた地区役員の皆様、また足下が悪い中、参加していただいた会員の皆様、誠に有り難うございました。次年度当地区のロータリー活動を皆さんと共に盛り上げて参りたいと思います。よろしくお祈りいたします。

【クラブ活動報告】

田辺市の天神崎で植樹

河内長野東ロータリークラブ

今年度の大きな社会奉仕事業の第2段として、中村会長の念願である植樹を実現しました。場所は河内長野より遠く離れていますが、ナショナルトラスト運動の発祥の地である田辺市の天神崎です。

ここには「天神崎の自然を大切にする会」が活躍されていて、今年は設立50年目にあたるそうです。この自然を守り育てるための植樹活動に、田辺ロータリークラブも加わっていただきました。



3月24日(日)貸し切りバスにて出発し、到着後の河内長野東RC、田辺RC合同植樹会のセレモニーでは、谷 宗光ガバナー、岡本 博ガバナー補佐、そして「大切にする会」の皆様の参加で総勢60人にもなりました。

この日はあいにくの雨でしたが、セレモニー時には小雨になり、植樹の時は幸運にも雨が止みました。河内長野東RCとして木は潮風にも強いシャリンバ、タブノキなど3種、計400本用意し、足元のぬかるみもあり、慣れない作業でしたが100本位植えました。河内長野東RCに造園業の会員がいて、準備や進行でスムーズにすすみました。残りはその会員と「大切にする会」に託しました。植樹の後、再度雨になり予定していた磯の観察会を中止し、観光の後帰路につきました。

この事業は、会長及び担当委員会の努力で実現し、遠くはなれたクラブ同士での合同作業はたいへん意義がありました。

なお、河内長野東RCからは大人20人、子ども6人。田辺RCは大人25人も参加いただきました。この催しには「TV和歌山」と「紀伊民報」の取材があり、それぞれ広報していただきました。

ロータリーの重点分野



環境



【クラブ活動報告】

創立45周年記念事業

姉妹クラブと共同で防災グッズを寄贈

和歌山北ロータリークラブ
会長 福田 玉緒

能登半島地震で多くの方が命を落とされました。ご冥福をお祈りいたします。

今年度、和歌山北ロータリークラブは創立45周年を迎えます。

周年記念事業として、当クラブの姉妹クラブであります『東済州ロータリークラブ』と共同で和歌山市立伏虎義務教育学校に【防災グッズ】を寄贈致しました。

きっかけは、やはり元旦に起きた「能登半島地震」です。

この地震のニュースは、おそらく多くの国民に衝撃を与えると同時に南海トラフ地震が頭を過ったことと思われます。実際、30年の間に南海トラフ地震が起こる確率80%とまで言われております。

和歌山県は温暖な気候と自然に恵まれています。特に和歌山市は災害の経験も少なく大変住みやすい町です。同じく、済州島も美しい自然とリゾート地として知られ、和歌山市の姉妹都市でもあります。

恵まれた町だけに、防災に関する意識、知識をより一層高めて頂きたい思いと、大人から子供だけでなく、子供から大人にも発信して頂きたい思いを込めて、【防災グッズ】を寄贈いたしました。



【クラブ活動報告】

創立45周年記念式典

和歌山北ロータリークラブ
会長 福田 玉緒

こんにちは。今年度、和歌山北ロータリークラブは創立45周年を無事迎えることができました。ご多忙中にもかかわらず、ご来賓の皆様におかれましては、ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



当クラブは先日65周年を迎えられた和歌山東ロータリークラブ様をスポンサークラブとして誕生しました。その後、東済州ロータリークラブ様と締結、又、本日遠方よりお祝いに駆けつけて下さった水戸東ロータリー様とは友好クラブを締結しました。

当クラブの事業を紹介させていただきます。

和歌山刑務所様には毎年書籍を寄贈、《和歌山北ロータリー争奪お別れ野球大会》は今年で20回目を迎えます。私も何度か観戦に行きましたが、子供たちの野球に対するひたむきさ、優勝したチームは諸手を上げて喜び、準優勝したチームは悔しさのあまりグラウンドに泣き崩れと本当に毎回、私たち会員は多くの感動を頂いております。又、先月開催の《和歌山北ロータリージュニアカップ杯》は小学生から高校生を対象にしたゴルフ大会ですが、ティーグラウンドで何の迷いもなく放つティーショットには驚きと圧巻の光景でした。



和歌山県庁正面玄関前の花壇の植え替え、又、和歌山市内9クラブ合同での和歌山JR西玄関前の花壇の植え替え、石川県への災害義援金の贈呈等、多くの事業に取り組んでおります。

周年記念事業として、和歌山市の姉妹都市でもあります済州島に在する《東済州ロータリークラブ》様と共同事業として和歌山伏虎義務教育学校様に防災備品一式を寄贈しました。これは、元旦に起こった能登半島地震がきっかけとなっております。



和歌山県は温暖な気候、海の幸、山の幸に恵まれ大変住みやすい県です。特に和歌山市はこれといった大きな災害もなく、又、済州島もアジアを代表するリゾート地として知られております。

しかし、この地震により私たちの脳裏には南海トラフ地震が頭をよぎったのではないのでしょうか。いつ起こるか予知すらできない災害に備え、子供たちに今以上に防災の意識を高めてもらうきっかけになればという想いを込めて寄贈致しました。

結びに、和歌山北ロータリークラブ、今日を新たなスタートとして微力ながら地域に貢献してまいります。ご協力の程よろしくお願いいたします。

そして、ご来賓の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。



【クラブ活動報告】

令和6年能登半島地震支援金を届けて

田辺東ロータリークラブ

田辺東ロータリークラブ(会長 谷本司)は、1月1日に発生した能登半島地震の支援として、クラブ例会で3月末まで募金箱を設置しました。

そこで集まった70,000円を4月3日(水)日本赤十字社へ紀伊民報を通じて手渡しました。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



姉妹クラブ

台湾・彰化東南RCが来訪、台湾 東部地震の義援金を手渡す

海南東ロータリークラブ

4月8日(月)、姉妹クラブの台湾・彰化東南RCの20名が来訪。歓迎例会を開きました。



台湾・彰化東南RCとは、2003年に当クラブでお世話していた米山記念奨学生のご縁で交流を開始。その後、姉妹クラブとなり、隔年に相互訪問し、20年以上、友好関係を保ち、親密に交流を続けています。この間、フィリピンのWCSプロジェクトで共同支援するなど、相互に連絡を交わし続けています。また、東日本大震災に多額の義援金を送っていただいたほか、コロナの際には、6,000枚を超えるマスクを寄贈していただきました。

歓迎例会では、長年の友好の軌跡を踏まえ、姉妹クラブの締結更新の調印や記念品の交換。また、4月3日に台湾東部発生した地震に対する義援金を手渡しました。



【クラブ活動報告】

創立25周年記念式典、祝賀会

有田2000ロータリークラブ

有田2000ロータリークラブは、2024年4月20日にクラブ創立25周年記念式典を開催いたしました。

式典は、南 良暢 実行委員長の歓迎挨拶でスタートしました。祝辞は、有田振興局長 星加 正積様を始め、有田川町長 中山正隆様、ガバナー 谷 宗光様、創立時ガバナー 成川 守彦様の温かいお言葉を頂きました。



創立時のガバナー 成川守彦様と、スポンサークラブ有田ロータリークラブ(会長 川口 健太郎様)に感謝状贈呈をいたしました。今回の式典は、有田2000ロータリークラブらしい「アットホームなクラブ」を紹介したいとの思いで、能登半島への義援金の寄贈、記念動画撮影に取組みました。会員一同総力で準備を進めてまいりました。記念動画の『われらの生業』では、会員一人一人の職場の紹介、ロータリーへの思いなど盛りたくさんの内容でした。

祝宴では、餅つきを開催しました。谷 ガバナー、成川 パストガバナーにも法被を着ていただき一緒に盛り上がりました。末永いお付き合い、地域に根ざした粘り強いクラブの発展を祈願して盛り上がりました。25周年は、一つの通過点にすぎませんこれからのクラブの発展と奉仕を通じて地域貢献を目指して活動していきたいと考えています。



新会員の紹介

	クラブ名	海南東ロータリークラブ		クラブ名	堺清陵ロータリークラブ
	氏名	とば ひろき 鳥羽 弘基		氏名	はちの けい 八野 慶
	職業分類	運送業		職業分類	不動産
	生年月日	1964年6月12日		生年月日	1984年7月15日
	入会年月日	2024年3月4日		入会年月日	2024年3月3日
	クラブ名	田辺東ロータリークラブ		クラブ名	有田2000ロータリークラブ
	氏名	つかはら たけし 塚原 健		氏名	かみやま ゆうすけ 神山 裕介
	職業分類	飲食店		職業分類	ソフトウェア業
	生年月日	1967年12月3日		生年月日	7月20日
	入会年月日	2024年3月1日		入会年月日	2024年3月1日
	クラブ名	和歌山アゼリアロータリークラブ		クラブ名	和歌山東南ロータリークラブ
	氏名	よしだ きよこ 吉田 起代子		氏名	かなた ひでき 金田 秀紀
	職業分類	福祉事業		職業分類	水産加工業
	生年月日	1963年3月13日		生年月日	1983年4月29日
	入会年月日	2024年3月4日		入会年月日	2024年3月6日

ロータリーへようこそ！

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する140万人の会員から成る世界的ネットワークのロータリーへようこそ。

はじめよう

クラブの活動に積極的に参加すれば、ロータリーが楽しく実りあるものとなります。

世界の多くのロータリアンと交流しよう

ロータリーの世界的ネットワークを通じて、海外の知り合いや友人とつながり、交流を深め、世界の平和を推進し、地域社会の支援プロジェクトに積極的に参加しましょう。

社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわたる友情を築きましょう！

奉仕と友情の輪を広げよう

訃言 哀報

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

和歌山南ロータリークラブ



やまだ あきこ
山田 昭子 様

2024年3月3日 逝去

在籍期間 5年6か月
職業分類 賃貸住宅業



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol. 289

2024年4月12日
発行

1. ベトナム南米山学友会 創立記念式典開催

3月10日、10番目の海外米山学友会として発足したベトナム南米山学友会の創立記念式典【会長：ホーライ フーン



さん(1973-75/桐生西RC)】が、ホーチミンにて開催されました。式典当日、当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、駒井英基常務理事に加え、日本からも40人以上のロータリー会員が出席。その他、韓国、中国、モンゴル、タイ出身の米山学友も多数出席しました。また、在ホーチミン日本国総領事館の古舘誠幾首席領事が出席し、この記念すべき日を祝うために会場に集結した人数は約140人となりました。ベトナム南米山学友会は2015年から米山学友グループとして、背中に「超私の奉仕」の文字を刻むオリジナルシャツを身にまとい、児童・障がい者・高齢者のための福祉施設への慰問など、日本のRCと連携しながら多

数の奉仕活動を行っています。式典内では、これまでに学友会活動をサポートしてきたRCへ感謝状が贈呈されました。

さらに、学友会が支援している児童養護施設の子どもたちが登場し、たくさん練習した、というダンスを披露。出席者からは温かい拍手が送られました。その他、レクリエーションや参加者全員による「手に手つないで」の合唱など、会場は熱気に包まれました。



2. タイ米山学友会 総会開催

2月25日、タイ米山学友会の総会がバンコク市内で開催されました。

総会はワラウト プンロッド会長(1995-97/福岡東南RC)の挨拶に続き、今年1月に発生した能登半島地震で亡くなられた方々への黙とうが行われました。その後、財務報告、活動報告が行われ、2021年に医療機器寄贈を行ったワットプレーン病院への再訪問と近況報告会の開催、昨年8月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」への参加などが紹介されました。

また、ワラウト会長の後任となる次年度会

長選挙が行われ、現在副会長を務めるペチニンナレスさん(1994-96/越谷RC)が会長となることが決定。次年度から新たな体制で学友会活動をスタートさせます。



3. 2024 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2024 学年度の奨学生は 932 人となりました。新規採用者 634 人、継続者 298 人です（4 月 1 日現在）。国・地域別では、中国 40.6%、ベトナム 14.6%、韓国 12.9%、インドネシア 4.6%、マレーシア、モンゴルが同率で 3.0%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 875 人（学部 421 人、修士 263 人、博士 191 人）、地区奨励奨学金が 23 人、クラブ支援奨学金が 8 人、海外学友会推薦奨学金が 1 人、海外

応募者対象奨学金が 25 人となっています。

4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. 寄付金速報 — 今年度も残り 2 か月半 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.4% 特 + 3.3%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：3.3%増）、約 2,110 万円の増加となりました。

た。ロータリー会員の皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。今年度も残り 2 か月半ほどとなりました。4 月以降は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 3 クラブ合同例会 主役は米山学友

3 月 13 日、東京浅草 RC・東京上野 RC・東京浅草中央 RC による「3 クラブ合同例会」（主催：東京浅草 RC）が都内にて開催されました。今回の合同例会は“米山学友の活躍”にスポットを当てたもので、二部構成で開催されました。

第一部はアメリカ出身で、沖縄に住みながら「長寿」沖縄の食生活とライフスタイルを研究・発信するクリスタル バーネットさん（2017-18 / 那覇南 RC）の卓話が行われました。



卓話を行うクリスタルさん

「長寿の秘訣は、食べる物ではなく食べ方にあります。楽しんで食事をする。そして、生きる目的を持ち、ソーシャルコネクションを持ち続けること」であり、それらすべてが「ロータリーライフに通ずるものがある」と語り、会場を沸かせました。



米山学友 4 人によるパネルディスカッション

第二部では、クリスタルさんに加え、モンゴル出身のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15 / 東京江東 RC）、中国出身の崔立剛さん（2008-09 / 青森 RC）、朱インインさん（2010-11 / 札幌東 RC）が登壇。4 人によるパネルディスカッションが行われ、「なぜ日本に残って働くのか」「東京で働く上での苦労」などについて、それぞれの体験談が披露されました。

今回のプログラムを立案した東京浅草 RC の田原績会長は、「今日、この日を心待ちにしながらも、参加が叶わなかった元地区米山奨学委員長であり、私の盟友でもある小森谷典明さんに良い報告ができそうです。ロータリー会員の皆さんに米山奨学事業について少しでも関心を持ち、日本に残って頑張る米山学友を応援していただければと思います」と、話しました。

6. 恩返しボランティア活動

2月23日、関東在住で新疆ウイグル自治区出身の米山学友、イスカンダル アブドバリさん(2017-18/川越RC)、スライマン アボレケモさん(2019-20/坂戸RC)、スマイルジャン エメットさん(2017-19/金沢RC)、アハット アブリズさん(2017-19/久留米東RC)を含む20人のグループが石川県の七尾市と羽咋郡志賀町にてボランティア活動を行いました。

当日は2つのグループに分かれ、一組は羽咋郡志賀町でウイグル料理のポロやスープ250人分の提供、もう一組は七尾市の被災現場で復旧作業を行いました。現地では、他のボランティア参加者と協力しながら作業を行い、被災した方々からは感謝の言葉をたくさんもらったそうです。なお、共にボランティアに参加した20人全員が日本で仕事をしており、これまでの恩を少しでも返すことができれば、という思いで参加したそうです。

アブドバリさんは、アボレケモさん、エメットさん、アブリズさんと共に「NPO法人JUアカデミー基金」を設立し、理事長を務めています。優秀な日本在住のウイグル出身留学生および中央アジアからの私費留学生へ、奨学金の支給や学習サポートを行っており、これまでに16人を支援。また、経済的支援が必要な日本人小学生にも奨学金を付与することを決定し、今後実施していく予定とのことです。



羽咋郡志賀町で振る舞ったウイグル料理のポロ

7. スリランカカレーで心も身体も温かく

韓国出身で大宮北RC会長を務める米山学友、金福漢^{キム}さん(1995-97/大宮北RC)が第2610地区穴水RCと協力し、能登半島地震の被災地でスリランカカレーの炊き出しや復旧ボランティアを行いました。



スリランカカレーを用意する金さん(左)

経緯として、穴水町にある福祉施設「精育園」から、全国の社会福祉施設に対して救援要請が出され、さいたま市でNPO法人 織の音アート・福祉協会「織の音工房」の代表を務める金さんが支援を決断したことが背景にあります。

3月21日に石川県入りした金さんは、共に現地入りした職員と翌日の炊き出しの準備と、スリランカカレーの仕込みを行いました。なお、このカレーは第2720地区 Japan O.K ローターEクラブ会員の米山学友で、共に第2代よねやま親善大使を務めたスチッタ グナセカラさん(2010-11/別府RC)が提供してくれたそう

です。22日に精育園に到着した金さん一行は、穴水RCの東四柳史明会長、鳥越豊子幹事、七海友也会長エレクト、舞谷繁ガバナー補佐と合流。前日から準備した、無農薬の野菜をたっぷり使い、ココナッツミルク

で辛味を抑えて作ったというスリランカカレーを振る舞い、精育園の入居者らと交流しました。23日も七尾市などで炊き出しや復旧ボランティアに参加するなど、精力的に活動を行った後、24日に埼玉へ戻ったそうです。

金さんは、「現地は復旧の遅れが深刻で、継続的支援の重要性を感じました。ボランティアに行けなくても、大きな支援はできなくても、被災者に心を馳せ、応援している方が多くいる、という事を伝えられて良かったと思います。被災された方々の『忘れられるのが一番怖い』という言葉が胸に刺さりました。これからも、できる支援を続けていきます」と、語りました。

第3地域 コーディネーター補佐

大森 克磨 (大分キャピタルRC)

LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを

私の職業分類は弁護士です。私が所属する大分県弁護士会では、2023年1月に研修テーマとして、LGBTQ+の方々に関する法的問題が取り上げられました。



また、同年9月には、この問題が、九州弁護士連合会の定期大会の報告テーマにもなりました。

私自身も、現在、性別変更手続きを手がけており、LGBTQ+の方と接しておりますが、LGBTQ+の方々は既に身近な存在となっております。

さて、「LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを」(寄稿者:グラント・ゴディン[オーストラリア]会員)というタイトルの記事を目にしたのは、3、4年前のことで、おそらくロータリーの友ではなかったかと思います。

ロータリーは、「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則」を大切にしておりますし、また、ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでおります。

ロータリーの捉えるハラスメントとは、「大まかに定義すると、個人またはグループを、以下の特性に基づいて、言葉であれ身体的であれ、脅迫、中傷、侮辱または攻撃する言動を指す:年齢、民族、人種、肌の色、障がい、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認。(ロータリー章典26.120. 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境から抜粋)。」とのことです。

しかし、LGBTQ+の方々への接し方はDEIの観点からだけではありません。LGBTQ+の方々の人口割合は、2022年鹿児島県弁護士会の調査では全人口の約8%、2023年電通ダイバシティラボ調べでは約9.7%、と推定されており、数字のブレは多少あるものの、相当数いらっしゃると思います。

私はロータリーコーディネーター補佐であり、その任務は、ロータリーコーディネーターを補佐して、会員増強や戦略計画策定の普及などを図ることとなります。

日本では、女性(この場合は生まれながらに与えられた性が女性)の会員が10%に満たず、女性のロータリアン獲得を目指さなければなりません。上記の数字をみれば、LGBTQ+の方々も大きな会員増強のターゲットであることが分かります。

LGBTQ+の方々は、我々ロータリーにとっては、DEIの問題だけではなく会員増強のターゲットと考えるべきだと思います。



(九州弁護士連合会での配布資料)

第3地域 公共イメージコーディネーター

深尾 兼好 (鹿児島西RC)

手っ取り早くブランディング

先日、地域リーダー会議で東京にメンバーが集まった折、面白い議論が持ち上がりました。「正式ロゴのバッジをつけているメンバーがほとんどいないのはどうして」「昔のバッジに愛着があるのよね」「横長のバッジはすぐにひっくり返る」「バッグがバッジに引っかかる」「ROTARYと此れ見よがしに入っているのも気が引けて」「徽章に限りマークのみの使用を認めているのも中途半端」「でもロータリーのブランディングを推進しているRPIC、ARPICは正式ロゴのバッジをつけるべきだよな」…と喧々諤々。



謙譲の美德=陰徳を是とした時代から一転して、素晴らしい行為はあらゆる手段を講じて社会に伝えるべしという公共イメージの向上が叫ばれ始め、その一環としてのブランディングが重要課題となっています。ブランディングとはロータリーの理念をベースに行動指針を定め視覚や言語を通じて社会の情感にアプローチすること。決してロゴデザインをガイドライン化し管理するに留まるものではありません。

私は長年、広告という業界に身を置き、嘗て多くの企業のCI(コーポレート・アイデンティティ)

【次ページへ】

Rotary  **コーディネーター NEWS** 2024年5月号 No.2
 発行：Region 1, 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 ロータリー財団地域コーディネーター

戦略(ブランディングという言葉が一般化する以前の企業のイメージ戦略)に携わってきましたが、MI(マインド・アイデンティティ)=企業理念とBI(ビヘビア・アイデンティティ)=行動指針、この両者を表現するVI(ビジュアル・アイデンティティ)からなるCIの本質をなおざりにして、マーク・ロゴだけが無意味に残存する例をたくさん見してきました。

世界の有名企業の多くは明確な企業理念と行動指針を持ち、社員の意識も高く期待通りの事業を展開し、これらをシェアするインパクトのあるコミュニケーションの中でビジュアルとボイスが一貫しています。マークを目にするだけで、メッセージに触れるだけで、その企業の魅力が見えてきます。これはロータリーのブランディングにも言えることです。手っ取り早くは、社会の話題となるような奉仕プロジェクトを仕掛け、ロータリーのボイスを意識したメッセージと、ストーリーテリング、自分自身のこととしてロータリーでの体験や感動を語る。会場の設営やPR素材は、ビジュアル・アイデンティティを統一し、ロータリーカラーと正しいロゴを使用する。要所は画像で取り込み、ネットで配信するだけでいいのです。ブランディングは、ロータリーと社会とを繋ぐインターフェイス、時々刻々コミュニケーション手段は変わります。

嘗ては電車の中でサラリーマンが手にしていたのは新聞、家庭ではテレビ。ところが今では電車の中では皆がスマホを見て、家庭ではテレビより長時間SNSにつながっています。是非是非お試しください。

第3地域 R財団地域コーディネーター補佐
吉原 久司 (尾道RC)

ポール・ハリス・ソサエティ(以降PHSとする)へのご協力をお願いします。



PHSとは毎年継続的に1,000米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付して下さるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

2013年に創設されて以来PHSは大きく成長してきました。その寄付額はロータリー財団年次基金の21%、財団への寄付全体の20%を占めています。PHSの会員数は2014年に10,607人(84か

国)でしたが2023-24年度には32,000人以上(154か国)にまで増えています。世界のPHS会員数の上位国は①米国15,530②韓国5,805③インド1,705④日本1,396名となっています。(2023年11月1日現在)

PHSに入会には入会時に一括で1,000米ドルを寄付する必要はなく、各年度に合計が1,000米ドルとなるように、どのように寄付するかは寄付者が決めることができます。その後の年度も、一括で1,000米ドルでも、ロータリー年度末までに少額を何回かに分けても、どちらでも結構です。入会方法はマイロータリーPHSのページから開くことができますし各地区のガバナー事務局からも手続きをとることができます。認証方法は地区単位で行われるプログラムであり、贈呈の方法は各地区で異なります。ガバナー並びにエレクトの皆様は地区大会などの公式行事の際に認証式を行うなど積極的に取り組んで頂きたいと思えます。

ポール・ハリスは、「どんな白昼夢でも、それが良い夢で、実現させることができるのなら、悪い癖とは言えない」と言ったそうです。ロータリーでは、地元や世界で素晴らしいプロジェクトや活動を行うことで、夢を実現しますが、これは、ロータリアンや支援者の方々の惜しみない寄附があるからこそ可能となります。ぜひ皆様方にはPHSの精神をお汲み取り頂き入会をして頂けるようお願い申し上げます。

2023-24年度(2023年7月1日～)
地区別 ポール・ハリス・ソサエティ会員数と増加数

第1地域 14地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計	
PHS数(本年従増加数)	13	84	5	47	2	24	21	38	45	73	5	117	17	7	498(33)	
第2地域 9地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計						
PHS数(本年従増加数)	116	53	12	11	11	30	222	68	33	556(43)						
第3地域 11地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計				
PHS数(本年従増加数)	14	17	70	9	22	87	118	12	23	11	14	397(23)				

合計 1,451名 (99名増)
2024年4月4日現在



第2640地区 会員数報告(2024年3月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	23.7.1	内女性	24.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計		23.7.1	内女性	24.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計
串本	5	1	4	1	0	0	0	0	0	1	松原	11	0	6	0	0	0	0	2	0	5
那智勝浦	9	0	8	0	0	0	0	0	0	1	松原中	23	3	23	3	0	0	1	0	0	1
新宮	45	2	49	4	0	0	5	0	0	1	美原	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	5	0	4	0	0	0	0	0	0	1
田辺	86	4	85	4	0	0	1	1	0	2	太子	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1
田辺東	36	3	34	1	1	0	3	0	0	5	富田林	32	0	31	0	0	0	0	0	0	1
田辺はまゆう	28	6	31	6	0	0	5	0	0	2	泉佐野	25	0	26	0	0	0	1	0	0	0
有田	24	1	25	1	0	0	1	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	22	1	22	1	0	0	0	0	0	0	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	1	0	0	1
有田2000	13	0	13	0	1	0	1	0	0	1	関西国際空港	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
御坊	36	3	36	2	0	0	2	0	0	2	岸和田	31	1	30	1	0	0	0	1	0	1
御坊東	13	0	11	0	0	0	0	1	0	2	岸和田東	39	7	40	7	0	0	3	0	0	2
御坊南	15	6	14	5	0	0	0	0	0	1	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	40	5	1	0	1	0	0	1	りんくう泉佐野	15	3	15	3	0	0	0	0	0	0
海南西	15	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	76	1	80	2	0	0	6	1	0	2	和泉	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
和歌山アゼリア	29	11	28	10	1	1	1	0	0	2	泉大津	41	3	44	4	0	0	3	0	0	0
和歌山東	50	0	51	0	0	0	2	0	0	1	和泉南	59	2	62	2	0	0	3	0	0	0
和歌山城南	37	2	37	2	0	0	1	0	0	1	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	17	0	18	0	0	0	1	0	0	0	高石	25	1	25	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	28	1	30	2	0	0	2	0	0	0	高師浜	10	1	10	2	0	0	1	0	0	1
和歌山南	70	6	73	7	0	0	6	1	1	3	堺	40	3	37	4	0	0	4	5	0	7
和歌山東南	36	5	40	5	1	0	4	0	0	0	堺東	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	22	3	0	0	1	0	0	2
橋本	45	0	44	0	0	0	2	0	0	3	堺中	15	3	17	3	0	0	2	0	0	0
岩出	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	堺北	29	1	28	2	0	0	3	0	0	3
河内長野高野街道	18	5	17	5	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	24	3	23	3	0	0	0	0	0	1
粉河	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
高野山	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	堺清陵	19	4	22	4	1	0	3	0	0	0
羽曳野	9	0	10	0	0	0	2	0	0	1											
河内長野	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリーモータークラブ	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0	計	1,548	128	1,558	132	6	1	74	12	1	60



クラブ数	2023年7月1日 会員数				2024年3月末 会員数				3月入会		3月退会		増減	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
64	1,420	128	1,426	132	5	1	11	1	-6	0				
	1,548		1,558		6		12		-6					

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!

会員増強はクラブの最優先事項です!

Rotary  My Rotary

2023-2024 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2024年4月26日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2024年4月26日	1,550	774	49.94%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	4	1	25.0%
那智勝浦	8	2	25.0%
新宮	49	14	28.6%
白浜	10	6	60.0%
田辺	85	51	60.0%
田辺東	34	16	47.1%
田辺はまゆう	31	9	29.0%
分区計	221	99	39.2%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
和歌山	79	62	78.5%
和歌山アゼリア	28	6	21.4%
和歌山東	50	43	86.0%
和歌山城南	37	9	24.3%
和歌山中	18	5	27.8%
和歌山北	28	16	57.1%
和歌山南	73	55	75.3%
和歌山東南	39	10	25.6%
和歌山西	10	2	20.0%
分区計	362	208	46.2%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	22	22	100%
河内長野東	22	6	27.3%
松原	6	5	83.3%
松原中	23	8	34.8%
美原	7	0	0.0%
大阪狭山	4	4	100%
太子	15	11	73.3%
富田林	31	19	61.3%
分区計	140	77	55.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	16	10	62.5%
和泉	20	7	35.0%
泉大津	44	23	52.3%
和泉南	62	16	25.8%
大阪金剛	12	11	91.7%
高石	25	10	40.0%
高師浜	10	8	80.0%
分区計	189	85	55.3%

目標達成 5クラブ

100% 達成クラブ
 貝塚ロータリークラブ
 河内長野ロータリークラブ
 大阪狭山ロータリークラブ

2023-2024年度
 登録率目標
88%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	25	12	48.0%
有田南	22	3	13.6%
有田2000	13	9	69.2%
御坊	37	13	35.1%
御坊東	11	7	63.6%
御坊南	14	4	28.6%
海南	8	5	62.5%
海南東	40	36	90.0%
海南西	15	1	6.7%
分区計	185	90	46.4%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	44	4	9.1%
岩出	23	6	26.1%
河内長野高野街道	17	10	58.8%
粉河	14	9	64.3%
高野山	14	8	57.1%
分区計	112	37	43.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
泉佐野	26	10	38.5%
貝塚	14	14	100%
貝塚コスモス	12	8	66.7%
関西国際空港	16	4	25.0%
岸和田	31	8	25.8%
岸和田東	40	24	60.0%
岸和田南	6	1	16.7%
KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
りんくう泉佐野	15	7	46.7%
分区計	168	80	47.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	39	15	38.5%
堺東	16	14	87.5%
堺泉ヶ丘	22	13	59.1%
堺中	17	5	29.4%
堺北	28	11	39.3%
堺おおいずみ	23	20	87.0%
堺フェニックス	6	2	33.3%
堺清陵	22	18	81.8%
分区計	173	98	57.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	7	6	85.7%

5月の行事予定表

日付	行事	場所
8(水)	第6回新旧合同地域社会奉仕委員会会議	ガバナー事務所
11(土)	新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議	和歌山JAビル和ホール
	ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	次年度ガバナー補佐・幹事予定者合同会議	けやきONE401
	南輪会IM	羽曳野市立生活文化情報センター
12(日)	RLI partIII	ZOOM
19(日)	岸和田RC創立70周年記念式典	岸和田グランドホール
25(土)	田辺東RC創立50周年記念式典	紀南文化会館
	ロータリー国際大会(25日~29日)	シンガポール



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に役立ててもらうため、情報収集と紙面の充実に努めています。

皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける**活動情報**は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送信ください。また、毎号の**表紙写真**も併せてご提供ください。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660

e-mail : tani@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

